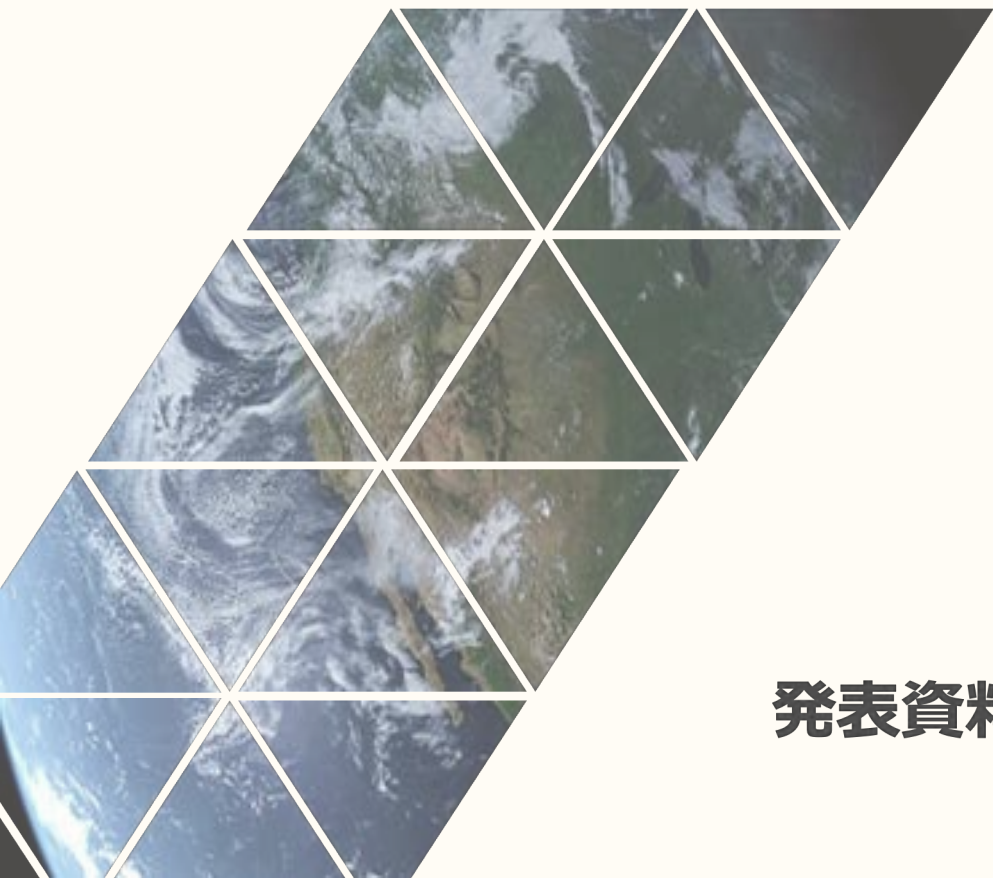


体育および保健における外国人児童生徒等の インクルーシブ教育の実現に向けて 教員が学ぶべきことは何か？



戸村 貴史（福山大学）○
岡出 美則（日本体育大学）
Mason Shannon（長崎大学）
池下 桃佳（筑波大学大学院）

佐藤 貴弘（筑波大学）
片岡 千恵（筑波大学）
古田 映布（筑波大学大学院）

発表資料



科研費
KAKENHI

体育および保健における外国人児童生徒等の
インクルーシブ教育の実現に向けたPD
（基盤研究（B）、令和4～7年度）

ルール


- 本ラウンドテーブルは外国人児童生徒等のインクルーシブ教育の実現に向けたディスカッションが中心となるため、偏見や差別的な発言は控えるようにする。
- デスカッション中に外国人児童生徒等やその保護者に関する話題が扱われる可能性が高いため、本ラウンドテーブル以外の場で、プライバシーに関わる内容は他言しないようにする。
- 本ラウンドテーブルにおいては、提案者と参加者を含むすべての人が互いの多様な背景に尊重を示し、平和的なディスカッションを実現する。



自己紹介TIME!!

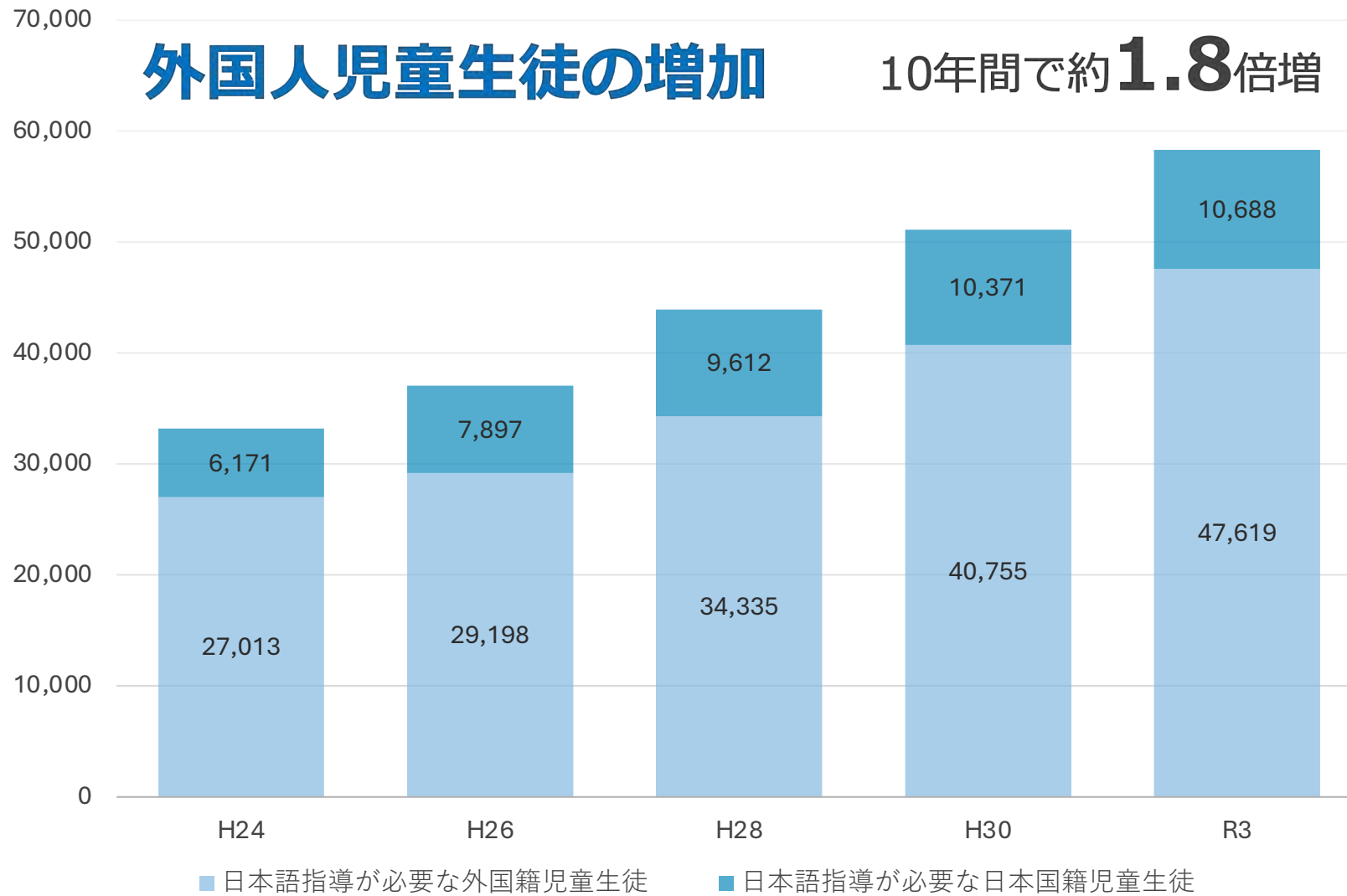
 お名前

 所属

 今回ご参加いただいた理由

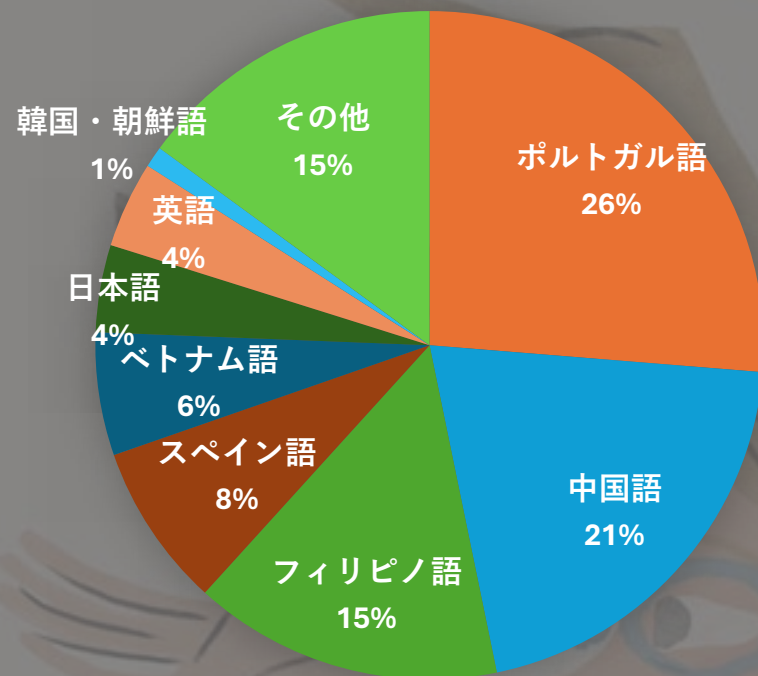
外国人児童生徒の増加

10年間で約**1.8**倍増



(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

外国人児童生徒等の第一言語



外国人児童生徒等とは・・・

複数の言語や文化にルーツがある児童生徒です。

例：外国籍、外国から帰国、両親が外国籍、帰化

教育的ニーズの多様化

(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」

インクルーシブ教育の定義

「インクルーシブ教育とは、教育における排除をなくし、学習活動への参加を平等に保障するための改革プロセスである。それは障害のある人だけを念頭に置くものでも、また単純に特別学校をなくすことでもない。文化・言語・民族的マイノリティやジェンダー、貧困などの問題も踏まえて、すべての学習者の多様なニーズに応えられるように、何よりも、通常の教育のカリキュラムや指導法、学校組織のあり方を問い直すものである。」(UNESCO, 2005; 荒川, 2015)



誰一人取り残すことない「令和の日本型学校教育」



体育および保健に着目する理由



体育は実技を中心とする学習であることから、児童生徒同士の言語的および非言語的な関わり合いがとりわけ豊富である。



保健は食に関する指導や性に関する指導など児童生徒自身の生活や生き方に密接に関わる学習である。



体育および保健における外国人児童生徒等の学習を保障するために、言語や文化、宗教などの個々人の背景を踏まえた指導をするための教員の知識やスキルの向上が喫緊の課題であり、教師教育の整備・充実が重要である。

目的

1

提案者が明らかにしてきた小学校、中学校、高等学校の体育および保健における外国人児童生徒等への指導の現状と課題に関する知見を紹介する。

2

インクルーシブ教育の実現を目指したオンライン教師教育プログラムの可能性と実践的な活用方法について、参加者とともにディスカッションする。

タイムテーブル

01 本ラウンドテーブルの趣旨説明

02 佐藤 貴弘先生（筑波大学） 「小学校、中学校、高等学校の体育および保健における外国人児童生徒等への指導の現状と課題」

03 ディスカッション① 「体育および保健における外国人児童生徒等への指導において、教員が身につけるべき知識とスキルは何か？」

古田 映布先生（筑波大学大学院） 「多文化共生教育を目指して体育授業でできること」

片岡 千恵先生（筑波大学） 「外国人児童生徒等の保健指導における留意点」

Mason Shannon先生（長崎大学） 「子どもの学習を支援する外国人保護者の思い」

04 戸村 貴史先生（福山大学） 「体育および保健におけるインクルーシブ教育を目指したオンライン教師教育プログラムの展望」

05 ディスカッション② 「インクルーシブ教育の実現を目指したオンライン教師教育プログラムの可能性と実践的な活用方法とは？」

06 岡出 美則先生（日本体育大学） 「まとめ」

小学校、中学校、高等学校の体育 および保健における外国人児童生 徒等への指導の現状と課題

筑波大学
体育系 教授
佐藤 貴弘

10年間の研究を通して学んだこと

- 日本では少子化が進むなか、外国人児童生徒の割合が増えている。
言語、文化、習慣、体育・スポーツの理解が異なるため、学校体育がどのように変化していくべきか問われている。
- 教員は外国人児童生徒に対し、
 - ✓ 日本の学校体育の目的を理解させる体育を行うのか？
 - ✓ それとも外国人児童生徒の文化的背景を理解し、個々のニーズに対応した体育を目指すのか？
- この問いにたいしては答えがはっきり出ていない。しかしこの問いに対して、3つの重要点を挙げる。

その1：インクルージョンの再定義

- 「インクルージョン」を英和辞典で調べると、日本語で「包摂」を意味し、国籍、性別や人種などの属性によって排除されることなく、社会や組織に認められる状態であること。
- 外国人児童生徒に対し、偏見や差別を理解し、最小限に抑え、体育に関わる全ての人が満足できる体育を目指す。

その2：保健と体育の横断教師教育の重要性

- Stenner and Taylor(2008)は、「**インクルーシブ保健科教育**」とは心身の健康の保持増進だけではなく、社会的な健康に関する知見をも含み、多様な子供たちの人権を尊重し、守るための教育と定義している。
- 保健科教育は人種、障害、国籍など多様な社会になるほど、生活習慣や危険行動防止などに大きく影響することもあるため、横断研究は重要である。
- また研究を遂行する際、理論を用いて深い分析を行う必要がある。

その3 : ラウンドテーブルの参加者との 共同研究

- この研究を通じて、日本の体育科教育学研究を海外へ学術発信していきたいと考えている。
- もしこの研究に興味がある小学校、中学校、高等学校、または大学の研究者の方々、興味がありましたらご参加いただけると幸いです。

高等学校の体育および保健における 外国人児童生徒等への指導の現状と課題

- 保健体育教師は留学生に体育授業を教える際、留学生が体育用具を安全扱えるかモニタリングする必要がある。留学生の母国で見たことも、聞いたこともないスポーツやアクティビティが学校体育で扱われているため、注意が必要である。
- アセスメント等の評価を行う際、言語の違いから質問が留学生に伝わり切れていないという懸念が明らかになった。
- また保健体育教師自身が留学生の保護者としての役割を担わなくてはいけないということ、また家族の一員として接することも重要であるということが明らかになった。

ディスカッション①

体育および保健における外国人児童生徒等への指導において、
教員が身につけるべき知識とスキルは何か？



日本体育科教育学会 第29回大会
ラウンドテーブル

2024年6月30日

多文化共生教育を目指して 体育授業でできること

筑波大学大学院 博士後期課程
古田映布

体育科教育の可能性

言語的な壁が低く、
授業に参加しやすい

周りを見れば
なんとなくできる

子ども達の関わりが多く
仲良くなるきっかけに

子ども達の教え合いで
学習の理解度が深まる

異文化理解の促進

Physical
Education

**“多文化共生”を
体験的に学習できる場**



教師が直面している課題

断食期間、体育は別室

ヒジャブは危ないから
外させる

海外の子は勝敗に
感情的になる子が多い

授業中、静かにしていて
くれるから

どうすればいいかわからない



教員の声

どうにかしてあげたいけど....
どうすればいいかわからない
気にかける余裕もない

宗教については、よくわからないから
触れずに済むなら触れたくない。

外国人児童生徒を担当しているのは本校で自分だけ
助けを求めたくても、他の先生は他人事
外国人児童生徒の指導において孤独感が強い

課題を解決していくために

例えば、、、
ヒジャブを外させることは、人権侵害

スカーフの裾を襟にしまうよう促す

**スポーツ用ヒジャブの着用や
ブルキニ（ブルカxビキニ）の提案を検討**



体育の可能性を実現するために

例えば、、、
リズム運動やダンスの時間に

ブラジル出身の子がいれば、**サンバのリズム**や**カポエイラ**
レバノン、ヨルダン、パレスチナなどの地域では、**ダブケのラインダンス**
フィリピン出身の子がいれば、**アパット・アパット**や**バンブーダンス**

出身国のダンスやリズムを導入することで
外国人児童生徒の活躍の場を増やし、**インクルーシブな学習環境をつくる**

未来の多様性社会を生きる子どもたちに 今、私たちができる多文化共生教育

「公正，協力，責任，参画，共生」

(学びに向かう力，人間性等)

スポーツは，民族や国，人種や性，障害の違いなどを超えて
人々を結び付けていること

(中学校：体育理論)

を体験的に学べる学習環境をつくっていくために

“選択肢(できること)”を増やしませんか？

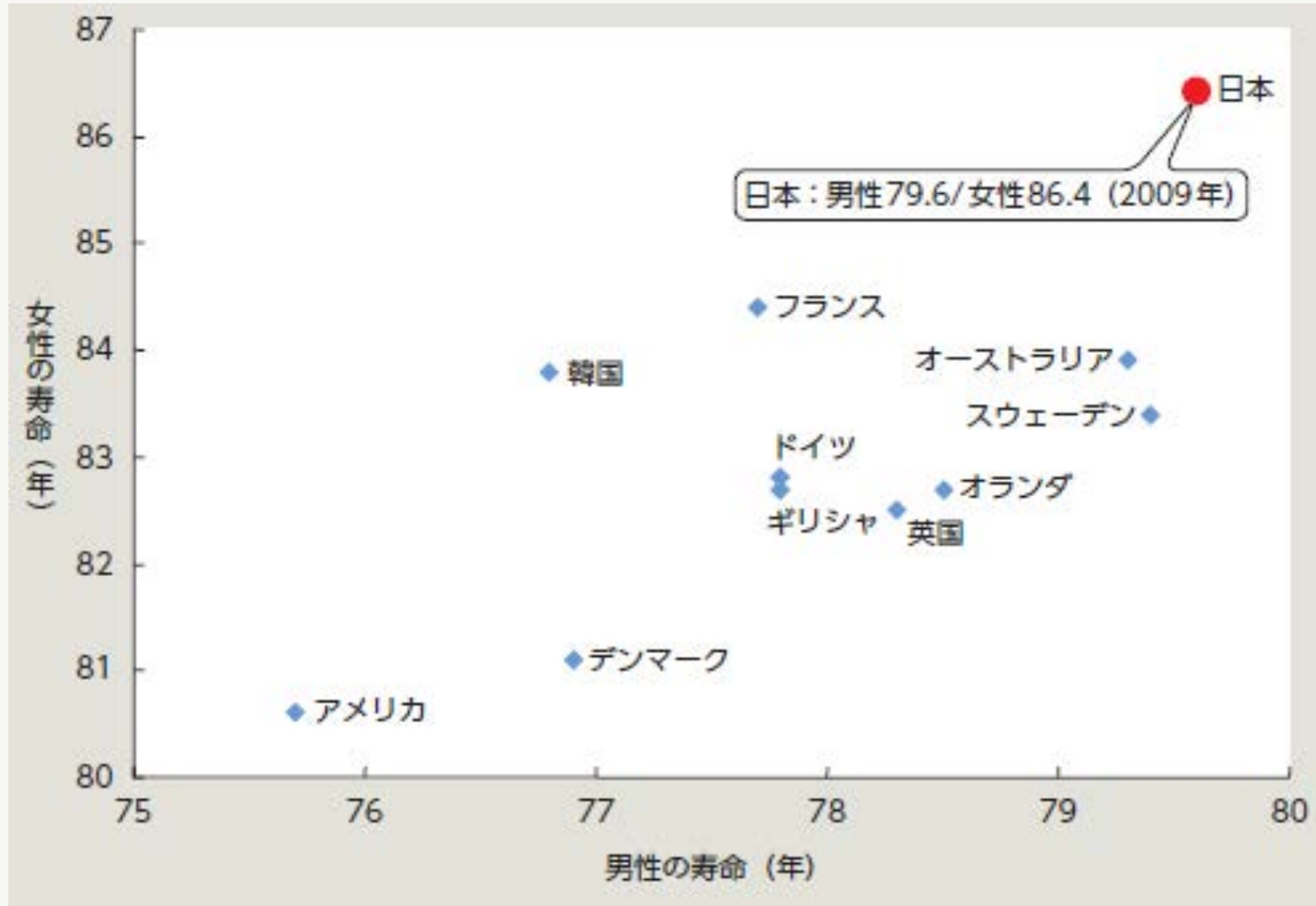
**体育および保健における外国人児童生徒等の
インクルーシブ教育の実現に向けて
教員が学ぶべきことは何か？**

外国人児童生徒等の保健教育における留意点

保健の授業においては、
言語に加えて多様な背景を包摂する必要がある

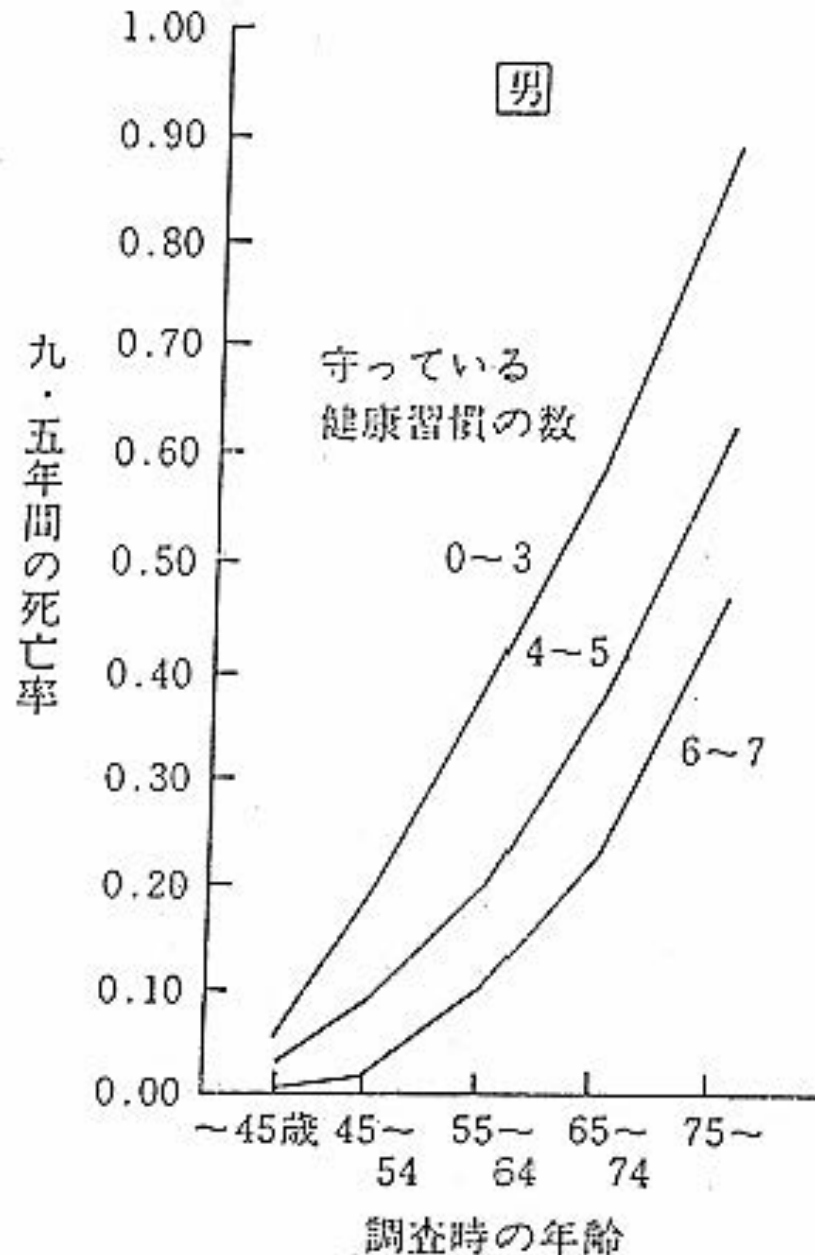


日本の寿命は、先進諸国の中で最も高い水準



(平成24年版厚生労働白書)

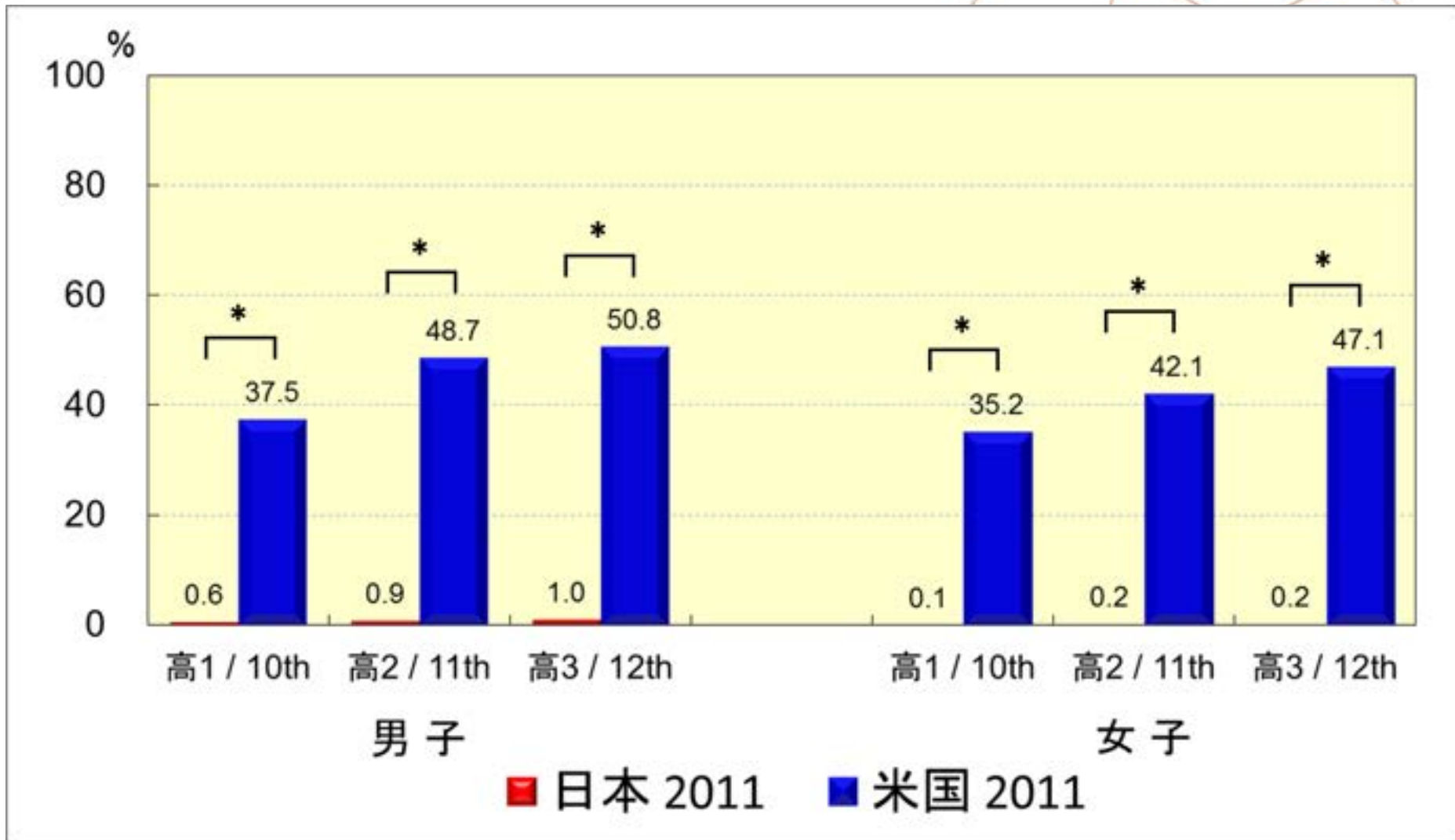
実践している健康行動の数と死亡率 (Breslowら, 1980年)



1. 喫煙しないこと
2. 過度の飲酒をしないこと
3. 身体活動を規則的にすること
4. 標準体重を保つこと
5. 十分な睡眠をとること
6. 朝食を毎日食べること
7. 間食をしないこと

(ブレスローの7つの健康習慣)

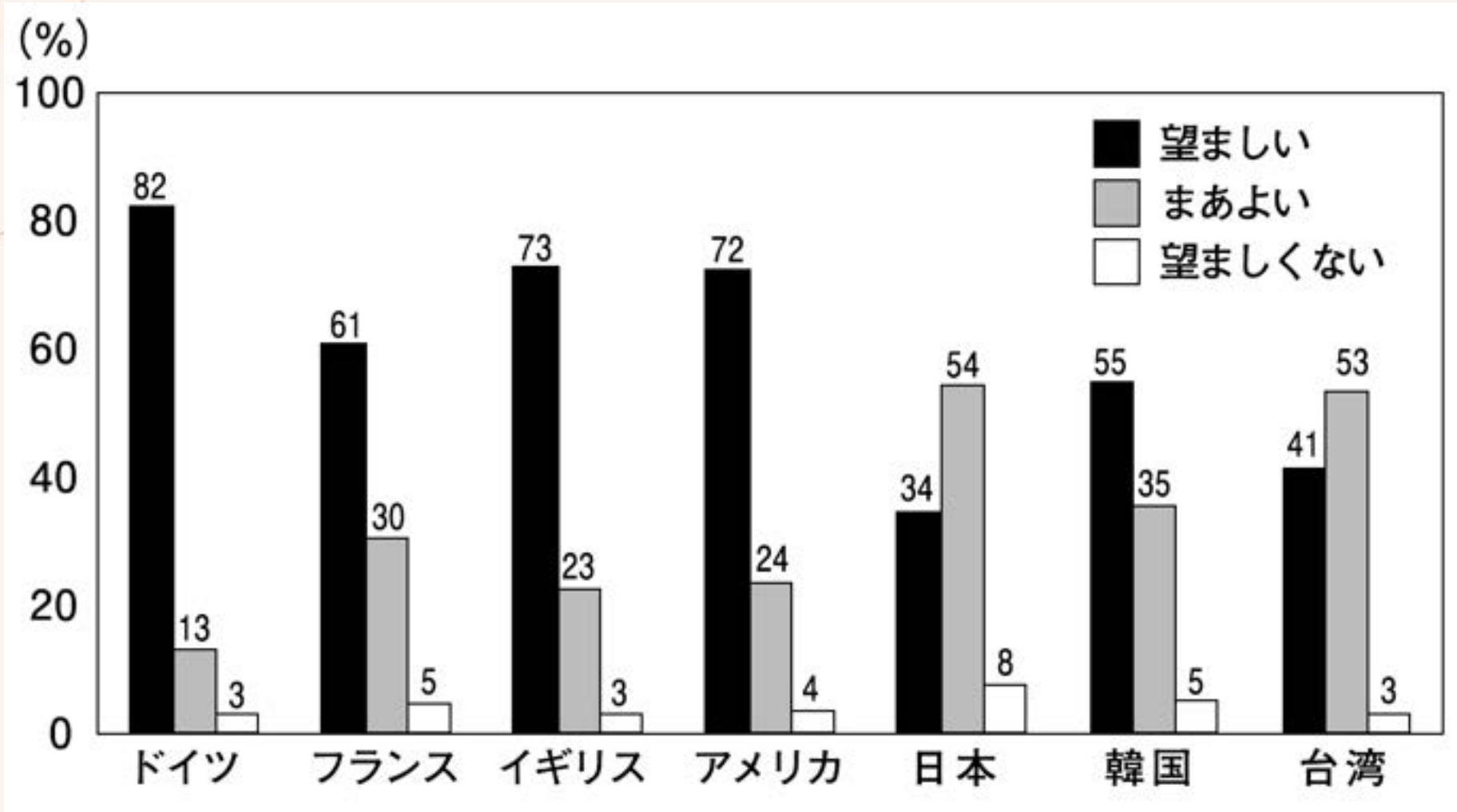
日本と米国の高校生における大麻経験率 (今までにある)



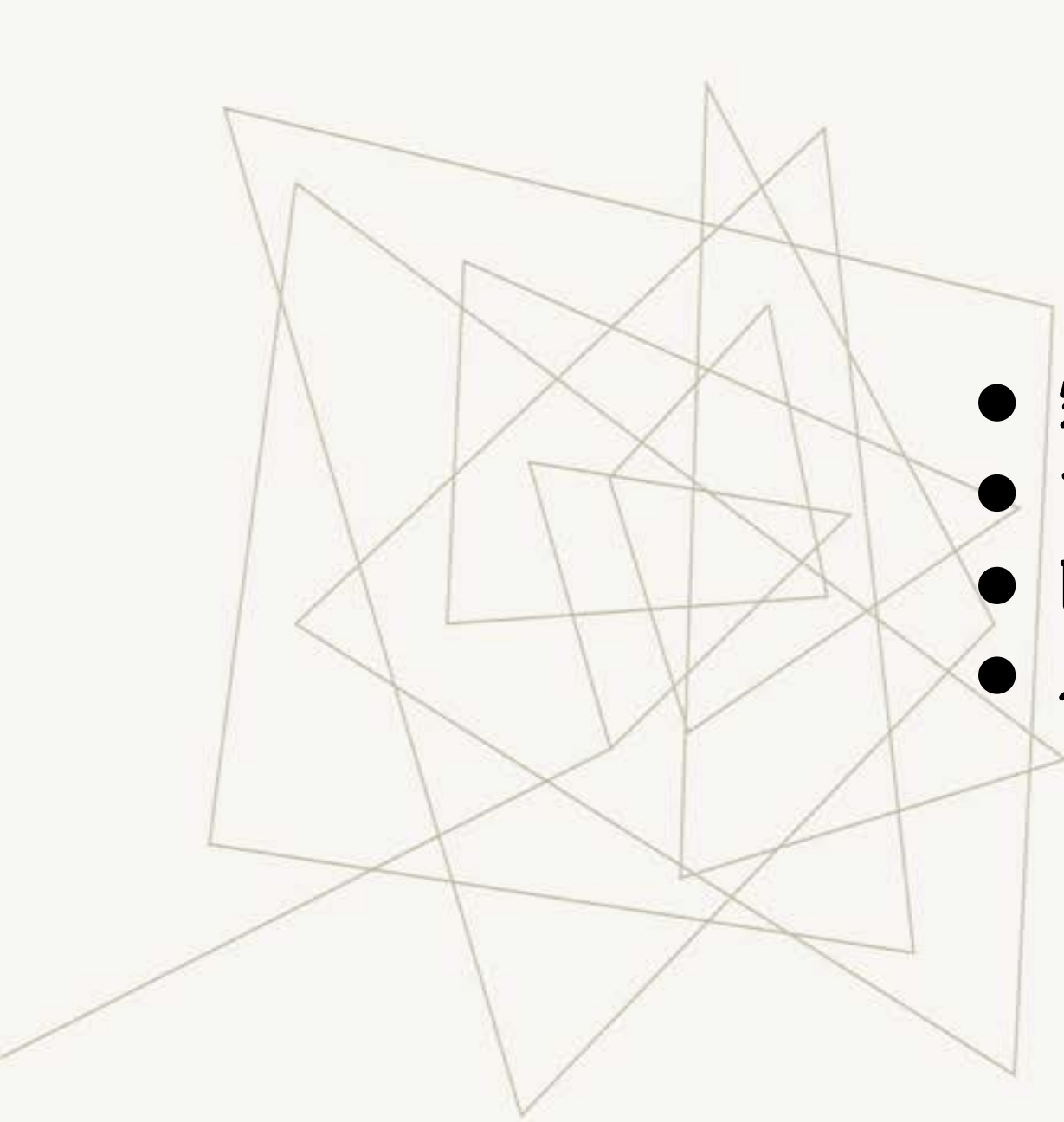
* Non-overlapping 95% CI

(野津ら, 2011)

「臓器移植」に関する見解



(峯村ら, 2010)

- 
- 宗教上，摂取できないもの
 - アルコール規制の年齢の違い
 - 医療保険制度の違い
 - 人工妊娠中絶の是非

ほかには…

保健授業を担う教師として大切な心構え

- 健康とは何か（健康観）について考え続け、
豊かな健康観をもつこと
- 人権意識を忘れないこと
 - ：一人ひとりの子供が有する背景を意識した授業を
 - ：熱心になるあまり、そうした多様な背景を考慮せず、
子供が傷つくような発言をしていないか

子どもの学習を支援する 外国人保護者の思い

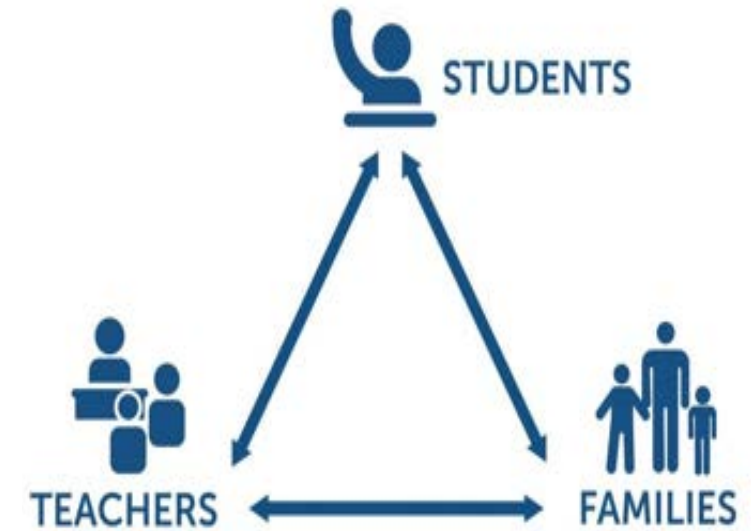


メイソン・シャネン
長崎大学教育学部

課題①

教育経験

- 日本の教育経験の不足
- 母国での教育経験
- 母国の教育制度、教育文化



課題②

言語

- 日本語能力
- 日本語でやり取りできる自信
- 情報の関連把握、理解



課題③

文化知識

- ニュアンス、深い理解
- 「当たり前」は
当たり前じゃない



保護者は子供の学習を支援したい。
国籍は関係ない。

外国人保護者の課題

- 教育経験、言語、文化知識

体育および保健におけるインクルーシブ教育を目指した オンライン教師教育プログラムの展望

福山大学 戸村貴史

1 オンライン教師教育プログラムの学習理論

— アンドラゴジー理論 (Andragogy : Knowles et al., 2020) —



Need to know

成人学習者は、学習の内容や方法、そして必要性を理解する必要がある。



Self-directed learning

成人学習者は、自律的・自己決定的な学習を行う。



Prior experience

成人学習者の過去の経験が、現在の学びの貴重な資源となる。



Readiness to learn

学習内容が、成人学習者の実社会への即時的な関連性を有する。



Orientation to learn

成人学習者は、問題解決に向けた学習を行う。



Intrinsic motivation

成人学習者は、学習に対する内発的動機を有する。

2 学習プラットフォーム



<https://ipecy.jp>

オンライン教育プラットフォームを活用する理由

- 教員の都合に合わせて学習時間を設定することができる。
- 学校や都道府県を超えて、教員同士の共同的な学びを実現することができる。
- 教員個人の学習した内容をデータとして記録に残すことができる。

3

学習内容

▶▶ モジュール学習

- 6種類のモジュールを1ヶ月ごとに2モジュールずつ学習する。
 - ー文化に対応した体育指導（2回）
 - ー保健指導における留意点（2回）
 - ー外国人保護者の関与（2回）

▶▶ 自己決定型学習

- IPECYのHPに掲載されている教材の中から、個人の学習ニーズに応じて教材を選択し、個人で設定した時間帯で学習を進める。
- 学習した教材は「お気に入りに登録」し、各教員ごとのポートフォリオを作成する。
- PD中に参加者から寄せられた質問に関して、返答用の動画又は資料を作成して定期的にアップデートしていく。

▶▶ オンラインワークショップ

- 研究期間中3ヶ月に1回開催されるオンラインワークショップのいずれかに参加をする。
- オンラインワークショップの中では、教員が互いの実践や経験を共有し、企画者が提示した問題の解決策についてディスカッションを実施する。

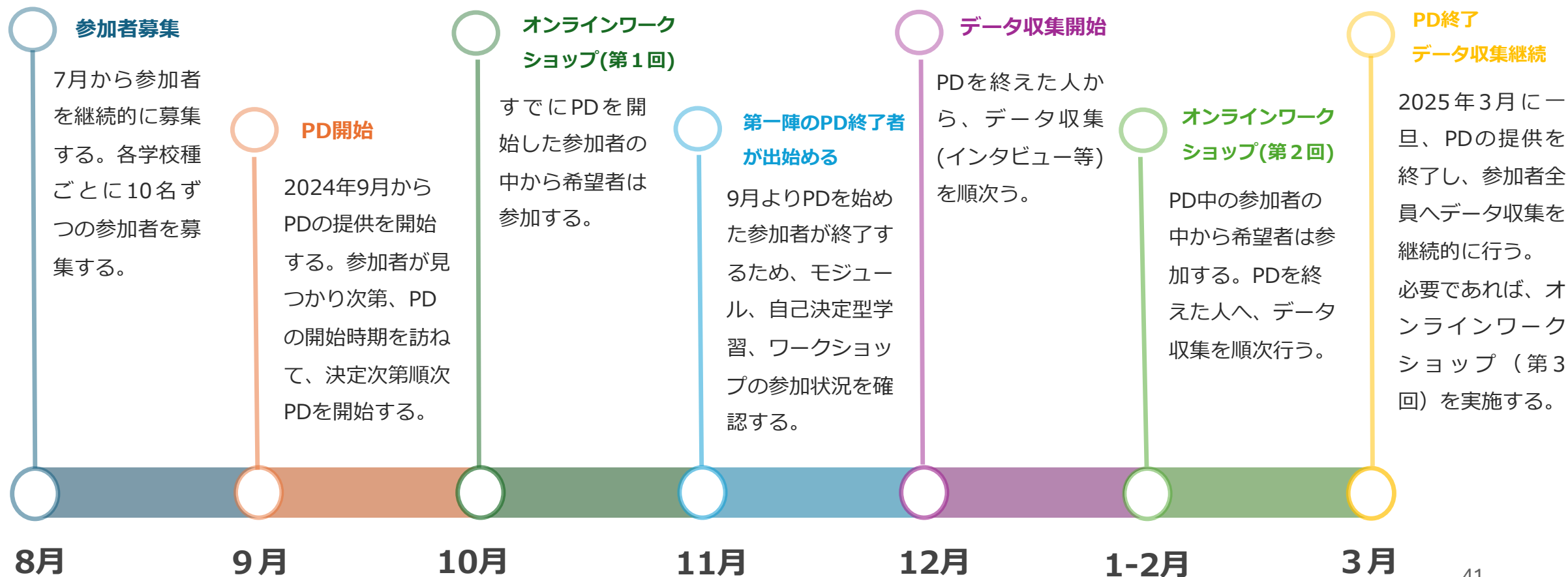
★ 3ヶ月プログラム

★ 開催時期は教員が決定する

1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目
モジュール I・II	モジュール III・IV	モジュール V・VI
文化に対応した 体育指導①	保健教育における 留意点①	外国人保護者の 関与①
文化に対応した 体育指導②	保健教育における 留意点②	外国人保護者の 関与②
自己決定型学習（随時）		
オンラインワークショップへの参加（全体で1回）		

4

5 PDの提供およびデータ収集の流れ



6

IPECYのHP利用方法について

Inclusive Physical Education for Children and Youth

宗教的配慮（断食編）

admin 2024年6月4日 コメントをどうぞ



★お気に入り追加する

概要

ある日、お持ちちゃんを通してインド出身の保護者から児童が宗教上の理由で断食をしているため激しい運動はできないとの連絡があった。しかし具体的にどの運動なら参加できるか分からない。どのように運動の誘引をしていくか・・・

動画



利用の手引き

IPECY プロジェクトグループ

PCおよびスマホ・タブレットでの表示

URL : https://ipecy.jp/

PC表示

スマホ表示

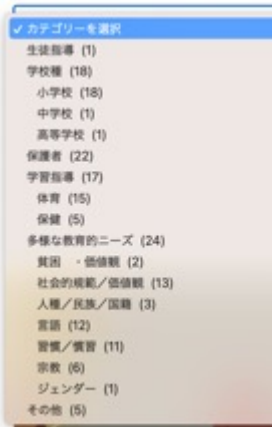
最新投稿スライダー

最新投稿をアイキャッチでお知らせ

話題の 카테고리

投稿が多く問題になりやすい 카테고리へのショートカット

カテゴリー詳細検索



メンバーマイページ



利用者登録・承認されたIDとPWでコンテンツ利用

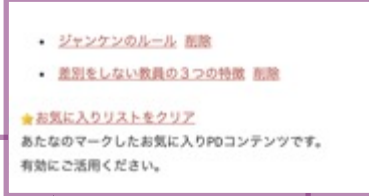


利用登録フォーム
必要事項記入で登録申請
管理者の承認で利用開始

本研究に関わる論文
を掲載しています。



自分の気になる投稿をストック



利用登録メンバーから
研究成果やレポートなどの投稿
を受け付けています。

全てのコンテンツが
タブレット・スマホから
同じように
ご利用いただけます。

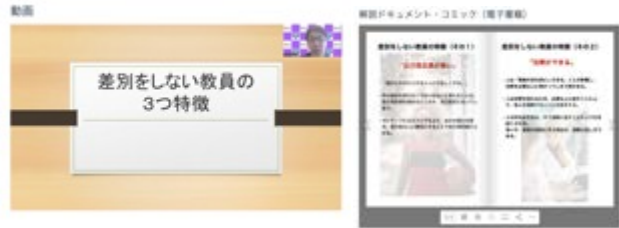


コンテンツ利用と研究参加

このようにご利用いただければ

IPECYプロジェクトで 初期コンテンツの掲載

現場へのインタビューやアンケート調査をもとに、多く発生する問題点とその解決策をさぐり、ポートフォリオにまとめて掲載
動画を使って、音声だけでも学習できるコンテンツを整備

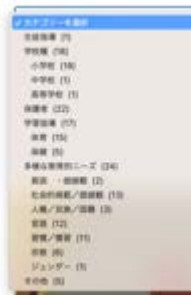


気になるPDを学習

- ・動画または音声で
- ・電子書籍で
- ・関連PDも



通勤途中でイヤホンで聴くだけでもOK



さらに洗練されたPDの追加

プロジェクトメンバー（参加者を含む）でさらに問題解決について調査、研究を深め、論文としても発表しながらPDプログラムコンテンツをまとめ上げ、サイトコンテンツに追加



システムアップデート



さらなる問題や解決策、対応について 現場からのご意見をフィードバック



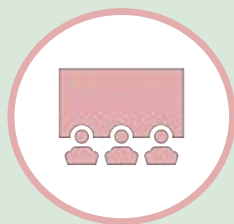
現場で活用



学んでいただいたことを活用して現場での教育にお役立てください。



教材



オンデマンド配信



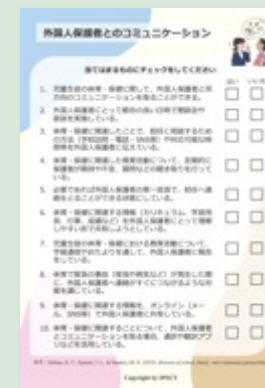
学習指導案



ポートフォリオ



チェックシート



グループディスカッション②

インクルーシブ教育の実現を目指したオンライン教師教育プログラムの可能性と実践的な活用方法とは？

体育

- 学習内容
- 指導方法
- 教材、教具
- 文化的背景への配慮
- 安全性など

保健

- 学習内容
- 指導方法
- 教材、教具
- 文化的背景への配慮
- 学校生活など

保護者

- 学習成果の報告
- 連絡方法
- 緊急時の対応
- 家庭でのサポート
- 学習用具等の準備
- 児童生徒に関する相談など

研究対象者を募集しています！



- 現職の小学校、中学校、高等学校の教員
- 外国人児童生徒等への体育・保健指導の未経験あり
- 本研究のオンライン教師教育プログラムに興味がある方



一緒に研究してみませんか？

- オンライン教師教育プログラムの教材開発に携わりたい
- 英語論文の執筆に興味がある
- インクルーシブ教育に興味がある